


- より良い医療を地域の人々に -

380号 今回のテーマ

The!

おしりのトラブル。

今月より正木副院長も
内痔核硬化療法に対応いたします。

 悩んでいる方も多いと思います。お気軽にご相談ください。



[発行] 社会医療法人 岡村一心堂病院
岡山市東区西大寺南2-1-7 Tel 086-942-9900

作成部門 ▶ 広報部

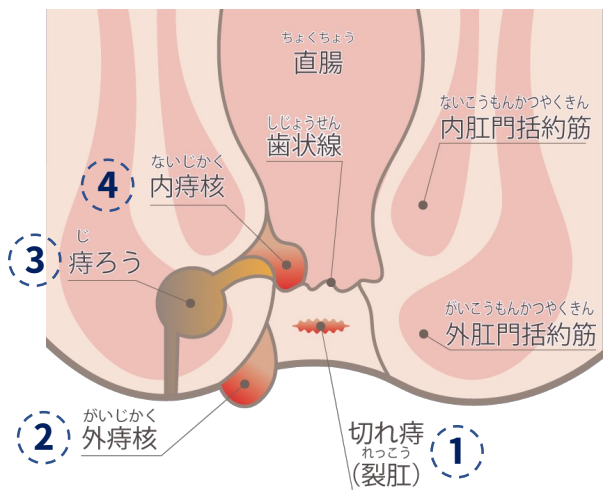
発行日:2020年11月6日(金)



Homepage

News

「切らずに治す注射による治療」内痔核硬化療法の対応医師が、総合診療科・外科門田医師に加え、外科・消化器外科の正木副院長が加わり2名体制で実施できるようになりました。



できる場所による 痔の治療のあれこれ

一口に痔といっても場所と状態によりさまざまです。大きく4つに分けて紹介します。

① 切れ痔 (裂肛)

通常は、食生活やライフスタイルを改善してお薬による治療を行います。再発を繰り返す場合、指で肛門を広げるという手術もあります。

② 外痔核

肛門の外の皮膚部分の静脈がうっ血してできます。排便時の負担などで起こります。基本は保存療法になりますが、生活上の支障などにより手術適応となります。

③ 痔ろう

男性に多い痔になります。肛門腺が化膿し炎症が広がって肛門周囲膿瘍ができます。慢性化すると皮膚までのトンネルができ痔ろうとなります。発熱やお尻が熱をもったり、お尻から膿がでるなどの症状があります。痔ろうは薬で治すことができませんので手術が必要になります。

④ 内痔核

内痔核は肛門の歯状線の内側にできる痔のことです。主な症状は出血です。初期はほとんど痛みを伴いませんが、進行すると、肛門の外に出てきたりします。(脱出や脱肛と言います。)はじめのうちは指で押せば戻りますが、そのうち戻らなくなり痛みを伴います。ここまでくると手術が必要です。

“切らずに治す” 注射による内痔核硬化療法 ALTA療法

ALTAとは切らずに治す痔疾患薬の有効成分である「硫酸アルミニウムカリウム水和物・タンニン酸」の略称です。



肛門の内側の内痔核に対して、ALTA (商品名ジオン注) という薬を直接注射することで縮小させ治療します。通常痛みを感じることはありません。当院では1泊2日の入院治療ですが、注射の所要時間は10分程度です。認定された医師のみが実施でき、当院では2名体制となりました。

上記で紹介した痔の種類に応じた治療や、女性/小児の限定外来など幅広く対応いたします。おしりのトラブル・お悩みはお早めにご相談ください。詳しくはWeb版をご覧ください。



Web版